

燦々便り 127

日本の四季、春と秋が短くなってちょっと寂しいです。
地球の気候の急激な変化、それでも能勢杯が出来ている感謝
人間の進化と共に試練は厳しいですね。
昔はこうだった．と言う前にこれからどのようにすれば良いのかを考えるべきかな、など思います。
能勢杯が出来たのは、私が、病気になったから！皆さんの声があったから！
病気になった時はもうテニスは出来ない！と思いました。
でもその時、「今年の能勢杯の申し込みはいつですか？」なんて問い合わせが来たのです。
まだ始めたばかり、参加チームは4～6ほどでした。
が、その時、『これなら私にも出来る』と！
体調を崩して休んだこともありましたが、でもまたやって欲しいと言う声に支えられ、再開しました。
今度こそ潮時かな！と思う一面、まだ生きている
試練は容赦ないですね。失敗は成功の元、なんて言葉がありますが、失敗だらけでした。
が45年、皆さんに支えられてきました。
テニスは手段、目的は人と人との出会い、と考えやってきました。勝敗より、出会ってテニスをする事。
ですから、お互い日程が合わせられない時も、どちらかが棄権する事のないよう、待てるだけ待ちました。
遅刻しても、待ってあげてください。と変なルールもあります。
どれも勝負の世界では甘すぎるルールです。当たり前にはいけない事です。
それを許してくださるメンバーの皆様、ありがとうございます

能勢杯

お知らせ 訂正 ウエイグッド 河南ではなく川南です
今年は8チームのリーグ戦です。
前半、後半と分けず進めています。
日程調整が1番大変だと思います。
大変であるほど出来た時は嬉しい。でも雨なんて時、
それもいい思い出